

# 第16回 コムズフェスティバル

平成27年1月31日(土)・2月1日(日)

## つながろう つなげよう 男女共同参画の輪

すべての人が自分らしく、いきいきと生きる。

そのきっかけになるように、今年度も開催されたコムズフェスティバル。

テーマは「つながろう つなげよう 男女共同参画の輪」。

基調講演は脚本家の中園ミホさんを講師に、

「働くことは生きること～逆境が私を育ててくれた～」と題し、ご講演いただきました。

### 基調講演

講師：中園 ミホさん (脚本家)

## 働くことは生きること ～逆境が私を育ててくれた～

#### 《プロフィール》

東京生まれ。日本大学芸術学部卒業後、広告代理店勤務、コピーライター、占い師の職業を経て、脚本家としてデビュー。以後、数々のヒット作を手がける。2007年に『ハケンの品格』が放送文化基金賞と橋田賞を、2013年には『はつ恋』『Doctor-X 外科医・大門未知子』で向田邦子賞と橋田賞を受賞。



ご自身の体験をふまえながら、「働くこと」や「自分らしく生きること」についてお話いただきました。

「未婚の母だったので、子育てと仕事の両立は過酷だったが、仕事仲間や地域の人が支えてくれた」「大変なときは声を上げていい。必ず助けてくれる人がいる」と語られました。

また、「乗り越えられない逆境はない」「この曲がり角を終えたらすばらしい景色が広がっていることをみなさんに伝えたい」と締めくくられました。



今回の講演には300名（女性：225名・男性：75名）の市民の方にご参加いただきました。  
アンケートでは、「大変よかった」と回答された方が大多数でした。

## 参加者の声

- ◆中園さんは人の心を開く天才だと思った（30代男性）
- ◆逆境は人生の宝であると感じた（50代男性）
- ◆お人柄のあたたかさや自分の長所を生かす物の見方、考え方がよく伝わった。  
どんな状況に置かれても、そこからはいあがることのできる前向きさが大切と  
わかった。これからの人生に役立てたい（60代男性）
- ◆年をとっても目標を持たないといけないと感じた（70代以上男性）

- ◆スーパーウーマンのような方を想像していたので、いい意味でギャップがあって親しみが持てた（20代女性）
- ◆「与えられた逆境や試練はその人に乗り越えられるものしか与えられないと思う」という話が印象的だった（30代女性）
- ◆自分も派遣社員なのでつらいことがたくさんあるが、中園さんのお話を聞いて勇気づけられた（40代女性）
- ◆お話を聞いて自分のダメなところも肯定でき、逆境を楽しもうという気持ちになれた（50代女性）
- ◆逆境は誰にでも訪れるもの、その先に必ず明るい明日があると信じて頑張ろうと思った（60代女性）

会場に素敵なお花を飾ってくださったのは、竹中園芸の竹中伸枝さんです。  
竹中さんは地域リーダー養成講座で講師を務めていただきました。

各市民企画分科会の実行委員会からの報告につきましては、3/1 更新のコムズホームページ（講座・イベント一覧「第16回コムズフェスティバル」の各市民企画分科会の欄）に掲載予定です。